

事業番号	04 03 21	事業改善シート（26年度実施事業分）		<input checked="" type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	小児初期救急医療体制整備事業			担当課	部局	健康福祉部	
					課・室	医療推進課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	iryo@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	6-1 健康で長生きできる地域づくり	7-2 子育て先進県の実現				
		4 医療施策の充実	2 産科・小児科医療の提供体制の整備				
					実施期間	H16 ～	

1 事業の概要

目指す姿	幅広く初期診療を実施する小児科医の減少や、保護者の病院指向などのため、軽症者を含む多くの小児患者が休日・夜間の病院に集中することにより増大している病院勤務の小児科医の負担軽減を図るため、小児初期救急医療体制の整備を促進する。											
現状	(1)小児救急電話相談事業（＃8000） 委託先:NPO法人e-MADO病気のこどもの総合ケアネット(毎日:19時～23時) 保護者の育児の経験不足による小児の病気やけがに対する不安に対応するため、小児患者の保護者に対する電話相談事業を委託して実施(合計2回線) (2)小児初期救急医療体制整備事業 補助対象:9団体(11施設) 補助率:1/2(県10/10) 夜間の小児初期救急医療体制を整備するため、地域の医師の協力により夜間の小児初期救急医療施設をセンター方式で運営する市町村等に対し運営費を助成する。											
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)					【左記の説明、根拠法令等】						
	県民との協働による実施:可能					国庫補助の活用実施とが効率的である。 救急医療対策事業実施要綱、医療提供体制推進事業費補助金交付要綱						
事業内容	① 成果目標(H26)											
	(1)小児救急電話相談事業（＃8000）:電話相談に納得した割合 90%以上 (2)小児初期救急医療体制整備事業:運営費補助が必要な小児初期救急センターのうち補助を行った施設数の割合 11/11施設											
	② 事業内容 (単位:千円)											
	項目		実施方法	H26実施内容		H25 (当初)	H26 (要求)		(予算案)			
	小児救急電話相談事業		委託	小児救急電話相談(毎日19:00～23:00)		12,162	11,969					
	小児初期救急医療体制整備事業		補助金	11施設		21,386	20,643					
				合計		33,548	32,612		0			
事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26要求	26予算案	成果目標の達成状況					
	予算額	前年度繰越						項目	H25末 (見込)	H26		H27 目標
		当初予算	30,764	35,743	33,548	32,612	目標			成果	達成状況	
		補正予算										
		合計(A)	30,764	35,743	33,548	32,612	0					
	Aの財源	国庫支出金	4,767	7,009	6,790	6,841		電話相談に納得した割合	94.6%	90%以上		
		県債										
		その他(繰入金)	420	890	310	40						
		一般財源	25,577	27,844	26,448	25,731	0					
	決算額(B)		28,897	31,921				補助が必要な施設に対する補助実施施設数の割合	11/11施設	11/11施設		
概算人件費	職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10							
	概算人件費(C)	826	826	826	826	0						
概算事業費(B(A)+C)		29,723	32,747	34,374	33,438	0						
指摘事項等への対応 <input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善		(指摘事項等)				(対応)						
要求からの主な変更点												